

第5回東北大学大学院女子学生海外渡航支援事業報告書

平成²⁴年³月²¹日

報告者名

所属部局名：東北大学大学院医学系研究科

学 年：修士課程 2年

氏 名：荒屋敷 純子



1. 渡航先

シンガポール

2. 参加国際学会等の名称

15th East Asian Forum of Nursing Scholars(EAFONS)

3. 開催期間

平成24年2月22日 ～ 平成24年2月23日 (2日間)

4. 旅行期間

平成24年2月21日 ～ 平成24年2月24日 (4日間)

5. 発表演題

THE WORK-FAMILY CONFLICT AND GENDER ROLE ATTITUDES
IN JAPANESE NURSES: A COMPARISON ACROSS GENDER, AGE
AND MARRIAGE.

6. 参加した国際学会等の状況並びに感想

初めての国際学会参加・発表であったため、国際学会の雰囲気や見るもの・聞くもの全てが大変な刺激となりました。また、アジアの看護職の研究動向を実際に肌で感じることができました。シンポジウムではアクセプトされる英語論文の書き方についての講義も受け、大変有意義な学会となりました。しかし、一方で語学の壁も痛感し、英語を母国語とする人たちと自由にコミュニケーションする能力を高めなければならないことも痛感しました。そういった意味で今後の課題が明確になり、新たな目標が定まった学会となりました。

7. 本事業に対する要望等

わたしはパートタイムで働きながら研究をしているので、今回の渡航費援助の事業は大変有難く思いました。

※ この報告書は、本事業の出資団体である「仙台Iソソクラブ」への事業成果報告として提出します。
※ この報告書は、本学男女共同参画委員会ホームページに掲載します。